

SDGs未来都市等進捗評価シート

2020年度選定

鹿児島県鹿児島市

2021年8月

SDGs未来都市計画名

鹿児島市SDGs未来都市計画

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

—

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

鹿児島市SDGs未来都市計画

(2) 2030年のあるべき姿

「第五次鹿児島市総合計画」における都市像と2030年のあるべき姿は共通しており、計画的・戦略的に取組を推進していくことで、SDGsの推進を図る。

<都市像>

「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま」

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2020年（現状値）	2021年（目標値）	達成度（%）
1	宿泊観光客数 【8.9,11.4,17.17】	2016年 (2015年) 3,410 千人	2020年 2,076 千人	2021年度 3,800 千人	-342%
2	外国人宿泊観光客数 【8.9,11.4,17.17】	2016年 (2015年) 195 千人	2020年 65 千人	2021年 300 千人	-124%
3	卸売業・小売業年間商品販売額 【9.2,17.17】	2016年 (2014年) 22,391 億円	2020年 (2016年) 26,050 億円	2021年 25,400 億円	122%
4	交通事故による死傷者数（10万人あたり） 【3.6,11.5,13.1,17.17】	2016年 662.9 人	2020年 330.0 人	2021年 500.0 人	204%
5	保育所等の待機児童数 【1.2,3.1,3.2,5.1,5.2,5.4,5.5,17.17】	2016年度 151 人	2020年度 213 人	2021年度 0 人	-41%
6	本市への移住相談件数 【5.b,11.5,11.b,17.17】	2016年度 29 件/年	2020年度 221 件/年	2021年度 100 件/年	270%
7	住宅用太陽光発電システムの設置累計【7.2,7.a,12.8,17.17】	2016年度 10,913 件	2020年度 12,656 件	2021年度 25,000 件	12%
8	温室効果ガス排出量の削減率 【7.2,7.a,12.8,13.1,13.2,13.3,17.17】	-	2020年度 2013年度比 (2018年度) 21.7 %減	2021年度 2013年度比 12.0 %減	181%
9	市民一人あたりの施設緑地面積 【14.1,14.2,15.1,15.4,15.9,17.17】	2016年度 10.2 m ² /人	2020年度 10.8 m ² /人	2021年度 10.8 m ² /人	100%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

（5）「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・宿泊観光客数及び外国人宿泊観光客数については、令和元年度まで順調に推移してきていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の数値は大きく減少したところである。今後は、当面の観光振興策と新型コロナウイルス感染症収束後の観光需要回復を見据えた観光振興に取り組みながら、コロナの状況を踏まえ、時流に合わせた交流人口の拡大を図る。

・保育所等の待機児童については、既存施設の活用による利用定員増、保育士等の業務等負担軽減を行うとともに、保育の仕事の魅力発信を行うなど保育人材の確保に努めているが、保育需要が増加しており、かつ保育士等の不足により、利用定員までの受け入れが困難な施設があり目標達成は依然として厳しい状況にある。引き続き、保育所等の待機児童の解消に向け、人材のさらなる確保などハード・ソフト両面から積極的に取り組む。

・移住相談については、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、地方移住への関心が高まっている傾向を捉え、「新しい生活様式」に対応したオンライン相談のほか、IJU倶楽部や移住奨励金の実施に取り組み、目標を大きく上回っている。

・温室効果ガスの排出抑制については、庁舎等のLED化を推進するとともに、本市の温室効果ガス排出量で運輸部門の割合が最も大きいことを踏まえて、電気自動車等への補助、公用車への電気自動車等の率先導入など、次世代自動車の普及に取り組んでおり、目標達成に向けて順調に推移している。

・住宅用太陽光発電システムの設置累計については、固定価格買取制度の買取価格の低下などを背景に補助申請件数が減少した。国等の動向に留意しつつ、引き続き太陽光発電の率先導入や導入支援を進めるほか、バイオガス施設の運営やゼロカーボン電力への切り替えなどにより再生可能エネルギーの利用促進を図っていく。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2021年目標値	達成度(%)
1	地域特性を生かした観光・交流の推進	宿泊観光客数	2016年 (2015年) 3,410 千人			2020年 2,076 千人	2021年 3,800 千人	-34%
2	中心市街地の活性化	中心市街地の歩行者通行量（30地点・土日）	2016年 161,137 人/日			2020年 123,529 人/日	2021年 171,000 人/日	-38%
3	地域産業の振興	卸売業・小売業年間商品販売額	2016年 (2014年) 22,391 億円			2020年 (2016年) 26,050 億円	2021年 25,400 億円	122%
4	総合的な危機管理・防災力の充実	自主防災組織のカバー率	2016年度 86.4 %			2020年度 94.0 %	2021年度 90.0 %	211%
5	生活の安全性の向上	交通事故による死傷者数（10万人あたり）	2016年 662.9 人			2020年 330.0 人	2021年 500.0 人	204%
6	少子化対策・子育て支援の推進、地域福祉の推進	保育所等の待機児童数	2016年度 151 人			2020年度 213 人	2021年 0 人	-41%
7	地域社会を支える協働・連携の推進	市内のNPO法人数	2016年度 396 団体			2020年度 368 団体	2021年度 430 団体	-82%
8	低炭素社会・循環型社会の構築	温室効果ガス排出量の削減率	—			2020年度 (2018年度) 2013年度比 21.7 %減	2021年度 2013年度比 12 %減	181%
9	うるおい空間の創出、清潔で美しいまちづくりの推進	市民一人あたりの施設緑地面積	2016年度 10.2 m ² /人			2020年 10.8 m ² /人	2021年 10.8 m ² /人	100%
10	市民活動を支える交通環境の充実	公共交通利用者数	2016年度 (2014年度) 80,079 千人			2020年度 (2019年度) 77,692 千人	2021年 現状水準を維持する	97%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

- ・SDGsの理念を踏まえ、SDGsの推進に取り組む企業、その他団体等を「かごしまSDGs推進パートナー」として、募集・登録し、同パートナーの取組について、市ホームページで紹介
- ・また、同パートナー等を対象としたSDGsパートナーシップ推進会議（仮称）の開催を予定

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

- ・宿泊観光客数及び外国人宿泊観光客数については、令和元年度まで順調に推移してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の数値は大きく減少したところである。今後は、当面の観光振興策と新型コロナウイルス感染症収束後の観光需要回復を見据えた観光振興に取り組みながら、コロナの状況を踏まえ、時流に合わせた交流人口の拡大を図る。【再掲】
- ・中心市街地の活性化については、再開発事業などによる多様な都市機能の充実に向けた取組は概ね順調に進んでいるが、ソフト事業では新型コロナウイルス感染症の影響で実施方法を見直したもや規模を縮小したもの、中止したものもあり、令和2年度の数値は大きく減少したところであるが、引き続き中心市街地活性化協議会や民間事業者とも連携しながら、中心市街地の活性化に取り組む。
- ・保育所等の待機児童については、既存施設の活用による利用定員増、保育士等の業務等負担軽減を行うとともに、保育の仕事の魅力発信を行うなど保育人材の確保に努めているが、保育需要が増加しており、かつ保育士等の不足により、利用定員までの受け入れが困難な施設があり目標達成は依然として厳しい状況にある。引き続き、保育所等の待機児童の解消に向け、人材のさらなる確保などハード・ソフト両面から積極的に取り組む。【再掲】
- ・地域社会を支える協働・連携の推進については、2020年度の数値は減少しているものの、市民活動団体を対象とした講座等を開催するほか、2020年度までに全小学校区で地域コミュニティ協議会が設立されるなど、地域主体のまちづくりが進められており、引き続き、地域の特性を生かした協働によるコミュニティづくりを推進する。
- ・温室効果ガスの排出抑制については、庁舎等のLED化を推進するとともに、本市の温室効果ガス排出量で運輸部門の割合が最も大きいことを踏まえて、電気自動車等への補助、公用車への電気自動車等の率先導入など、次世代自動車の普及に取り組んでおり、目標達成に向けて順調に推移している。【再掲】

(4) 有識者からの取組に対する評価

- ・かごしまSDGs推進パートナーが今年8月時点で105という増加状況は素晴らしいと思われる。今後、これら集積した企業の連携や相乗効果を高めるべく、自治体側のさらなる働きかけが期待される。
- ・「かごしまSDGs推進パートナー」にかかわることが多数書かれているが、これらの企業・団体が具体的にどのような活動を行うのかのイメージが伝わらない。SDGsの個々の取組とパートナーが繋がる取組であることを期待したい。